

前提条件など、登録時に注意を要する科目一覧

作成日：2018年2月14日
最終更新日：2018年9月13日

1. 専門基礎科目

群	科目	登録条件・注意事項
I	基礎数学 5クラス（安原 晃 先生） 基礎数学 8クラス（田中 心 先生）	数学受験者用クラスのため、他のクラスより内容の多い講義となっております。この点を加味した上で、希望者は履修するようにしてください。
	ミクロ経済学	「基礎経済学」修得者のみ登録可。
	マクロ経済学	
II	国際貿易論	「貿易論」（～2013）修得済の者は登録不可。

2. 専門教育科目

群	科目	登録条件・注意事項
I	簿記 I	「基礎会計学」修得者、または「日商簿記検定 3 級」程度の知識を有する者のみ登録可。 上記の者であっても「簿記原理」（～2008）または「上級簿記」（～2009）修得済みの場合は登録不可。
II	簿記 II	「簿記 I」もしくは「上級簿記」修得者、または「日商簿記検定 2 級」程度の知識を有する者のみ登録可。
	ゲーム理論と戦略	初回講義は、オンデマンドでの講義となります。教室では実施されませんのでご注意ください。 履修者については、Course N@vi にアップロードされているコンテンツにて、各自で受講してください。
	回帰分析 I（坂野 慎哉先生）	「計量経済学」（～2013）修得済の者は登録不可。 回帰分析（～2018）修得済の者は登録不可。 基礎数学および基礎統計学修得者のみ登録可。 回帰分析 II 修得済の者は登録不可。
	回帰分析 II（片山 東 先生）	計量経済学（～2013）修得済の者は登録不可。 回帰分析（～2018）修得済の者は登録不可。 回帰分析 I 修得済の者は登録不可。
	民法（総論） I	「(旧) 民法 I」修得済の者は登録不可。
	民法（総論） II	「(旧) 民法 II」修得済の者は登録不可。 「民法（総論） I」修得者のみ登録可。
	総合商社ビジネス論	政経科目「総合講座（現代総合商社論）」修得済みの者は登録不可。
	ビジネスアイデア・デザイン（BID）	「BID（ビジネス・アイデア・デザイン） 新しい価値を生み出す技術」（～2017）※GEC 設置科目 を修得済の者は登録不可。
	数理統計学 I、数理統計学 II	数理統計学（～2014）を修得済の者は登録不可。
	中国社会と企業	「中国社会と企業」（2014）修得済の者は登録不可。
	中国社会と文化	「中国社会と文化」（2014）修得済の者は登録不可。
III	財務諸表分析論	「経営分析論」（～2012）修得済の者は登録不可。
	企業価値評価論	「財務管理論」（～2012）修得済の者は登録不可。
	国際マーケティングマネジメント論	「国際マーケティング論」（～2013）修得済の者は登録不可。
	経済統計 I	「経済統計」（～2014）修得済の者は登録不可。
	経済統計 II	
	産業組織論	「基礎数学」修得者のみ登録可。

	民法（物権法）Ⅰ	「(旧) 民法Ⅰ」、「(旧) 民法Ⅱ」、「(旧) 民法（総論）Ⅱ」、「民法（総論）Ⅰ」、「民法（総論）Ⅱ」のうちいずれか1科目以上修得している者のみ登録可。
	民法（債権法総論）Ⅰ	
	民法（債権法総論）Ⅱ	「(旧) 民法Ⅲ（債権総論Ⅱ）」修得済の者は登録不可。 「民法（債権法総論）Ⅰ」修得者のみ登録可。
	労働法Ⅰ	「労働法」（～2011）修得済の者は登録不可。
	労働法Ⅱ	
	The Japanese Economy 1	ABS プログラム参加者必修科目となりますが、本プログラムを登録していない場合も登録できます。
	Japanese Business (ABS プログラム)	ABS プログラム参加者以外は登録できません。
—	寄附講座等系統科目全て	2010年度以降入学者は、当該科目は8単位まで しか、卒業算入科目として登録できません。登録時に超える見込みがある場合は登録エラーとなります。

3. 総合教育科目

群	科目	登録条件・注意事項
Ⅰ	哲学の歴史 A / B	「哲学の歴史」（～2017）修得済の者は登録不可。
	比較宗教 A / B	「比較宗教」（～2017）修得済の者は登録不可。
	現代の哲学 A / B	「現代の哲学」（～2017）修得済の者は登録不可。
	人間と自然 A / B	「人間と自然」（～2017）修得済の者は登録不可。
	現代倫理学の諸問題 A / B	「現代倫理学の諸問題」（～2017）修得済の者は登録不可。
	民族と宗教 A / B	「民族と宗教」（～2017）修得済の者は登録不可。
	社会学の視点 A / B	「社会学の視点」（～2017）修得済の者は登録不可。
	心理学 A / B	「心理学」（～2014）修得済の者は登録不可。
	現代の諸問題（文明の衝突を超える視点）	以下の科目いずれかを修得済の者は登録不可。 生きがいの探求（～2006） 現代の諸問題B（女性学）（～2000） 現代の諸問題C（女性学）（～2000） 現代の諸問題A（免疫学）（～2001） 現代の諸問題A（都市の危機管理）（～2004） 現代の諸問題A（ナノテクノロジーの可能性を探る）（～2007） 現代の諸問題（脳とホルモン）（～2009） 現代の諸問題（「文明の衝突」を超える）（～2013） 現代の諸問題（脳疾患からの生還）（～2016）
	中国社会の探求 A / B	「中国の社会と経済」（～2017）修得済みの者は登録不可。
	中国社会とビジネス A / B	「中国社会と社会システム」（～2013）修得済の者は登録不可。
	総合教育科目演習（プロゼミ）全て	プロゼミA（春学期）履修者は、科目登録最終結果発表時に同一のプロゼミB（秋学期）が自動登録されます。プロゼミBが、自動登録科目（外国語、ゼミ等）の時間割と重複した場合は、プロゼミAのみの履修となり、プロゼミBは登録されません。また、一部のゼミは選考面接に合格した者のみ登録可とします（選考面接の詳細は別途案内）。なお、プロゼミAが不合格となった場合、自動登録されたプロゼミBは、春学期成績発表後に取消しとなります。
	総合教育科目演習（プロゼミ）B	一部のプロゼミBについては、プロゼミBから登録することが可能です。登録可能な科目については商学部 HP の科目登録関連情報『専門教育演習（プロゼミ）B 追加募集について』をご確認ください。

4. 外国語科目

群	科目	登録条件・注意事項
Ⅱ	ドイツ語Ⅱ選択 A/B 表現（書く・話す）	「ドイツ語Ⅱ選択 A/B 表現」（～2013）修得済の者は登録不可。

	ドイツ語Ⅱ選択 A/B 表現 (聞く・話す)	「ドイツ語Ⅱ選択 A/B 初級会話」(～2013) 修得済の者は登録不可。
	ドイツ語コミュニケーション A/B	「ドイツ語会話中級 A/B」(～2013) 修得済の者は登録不可。
	フランス語Ⅱ選択 A/B 読解 (文学・芸術)	「フランス語Ⅱ選択 A/B 読解 (文化・文学)」(～2013) 修得済の者は登録不可。
	フランス語Ⅱ選択 A/B 口頭表現	「フランス語Ⅱ選択 A/B 初級会話」(～2013) 修得済の者は登録不可。
	フランス語コミュニケーション A/B	「フランス語会話中級 A/B」(～2013) 修得済の者は登録不可。
	時事フランス語 A/B	「現代のフランス A/B」(～2013) 修得済の者は登録不可。
	スペイン語Ⅱ選択 A/B 表現 (書く・話す)	「スペイン語Ⅱ選択 A/B 口頭表現」(～2013) 修得済の者は登録不可。
	スペイン語Ⅱ選択 A/B 表現 (読む・話す)	「スペイン語Ⅱ選択 A/B 読解」(～2013) 修得済の者は登録不可。
	スペイン語Ⅱ選択 A/B 表現 (聞く・話す)	「スペイン語Ⅱ選択 A/B 聴解」(～2013) 修得済の者は登録不可。
	スペイン語Ⅱ選択 A/B スペイン語圏の文化と言葉	「スペイン語圏の文化と言葉 A/B」(～2017) 修得済の者は登録不可。
	スペイン語コミュニケーション A/B	「スペイン語会話とコミュニケーション A/B」(2013) 修得済の者は登録不可。
	時事スペイン語	「時事スペイン語 A/B」(～2017) 修得済みの者は登録不可。
	総合スペイン語	「スペイン語総復習 A/B」(～2013) もしくは「総合スペイン語 A/B」(～2017) 修得済の者は登録不可。
	中国語コミュニケーション A/B	「中国語のコミュニケーション A/B」(～2013) 「中国語会話 A/B」(～2013) 修得済の者は登録不可。

[2013 年度以前入学者 (2015 年度入学の 3 年次編入者・転部者・学士入学者・ダブルディグリー者含む)]

群	科目	登録条件・注意事項
Ⅱ	留学のための Academic Reading 留学のための Academic Listening	Ⅱ 群科目ですが、1 年次から履修可能です。 科目申請時に、科目群「外国語 Ⅱ (英語)」から科目を選択してください。
	英語Ⅱ (習熟度別) 上級 選択科目 科目全て	2017 年度英語統一試験 590 点以上 のスコア取得者が対象。任意登録なので間違ってもエラーにはなりません。基準に従ってクラスを選択してください。
	英語Ⅱ (習熟度別) 中級 選択科目 科目全て	2017 年度英語統一試験 585 点以下 のスコア取得者が対象。任意登録なので間違ってもエラーにはなりません。基準に従ってクラスを選択してください。
	中国語Ⅱ選択科目全て	2013 年度より科目の再編が行われました。2011 年度まで設置していた科目との互換性はなく、全て異なる科目内容ですので、どの科目でも中国語Ⅰを 2 単位以上修得していれば登録は可能です。
Ⅲ	総合・学際群 国際系科目 (Ⅱ 群科目も含む)	授業が全て外国語で行われる科目があります。 スコア条件等はないので、間違ってもエラーにはなりません。 使用言語等の詳細は、web シラバスを確認してください。
	専門英語講読 A	専門英語講読 A は同じ科目を重複して履修することができます。 (前年度に「専門英語講読 A」の単位を修得していた場合も、再度「専門英語講読 A」を履修することができます) ただし、担当教員が同じクラスを重複して履修することはできません。
	専門英語講読 B	専門英語講読 B は同じ科目を重複して履修することができます。 (前年度に「専門英語講読 B」の単位を修得していた場合も、再度「専門英語講読 B」を履修することができます) ただし、担当教員が同じクラスを重複して履修することはできません。

[2014 年度以降入学者 (2015 年度入学の 3 年次編入者・転部者・学士入学者・ダブルディグリー者除く)]

群	科目	登録条件・注意事項
I	英語Ⅰ ビジネス英会話	ビジネス英会話 B は、原則として同科目 A を一度以上履修していることが登録の条件です。 「General Tutorial English」が不合格となった場合、 次年度 以降に

		自身で登録し、英語Ⅰの単位として算入することができます。
Ⅱ	留学のための Academic Reading 留学のための Academic Listening	Ⅱ群科目ですが、1年次から履修可能です。 科目申請時に、科目群「外国語Ⅱ選択（英語共通）」から科目を選択してください。
	英語以外の外国語Ⅱ選択科目（上級レベル）	「外国語Ⅱ必修（1単位）」および「外国語Ⅱ選択（中級レベル）（2単位）」修得者のみ、次学期以降登録可。
	英語Ⅱ（習熟度別）上級 選択科目 科目全て	2017年度英語統一試験 655点以上 のスコア取得者が対象。準上級クラスの方も当該科目を履修することが出来ます。
	英語Ⅱ（習熟度別）準上級 選択科目 科目全て	2017年度英語統一試験 490点以上、650点以下 のスコア取得者が対象。中級クラスの方も当該科目を履修することが出来ます（上級クラスの方は履修不可）。
	英語Ⅱ（習熟度別）中級 選択科目 科目全て	2017年度英語統一試験 485点以下 のスコア取得者が対象。上級クラス・準上級クラスの方は履修できません。
Ⅲ	外国語専門科目分野 （Ⅱ群科目も含む）	授業が全て外国語で行われる科目があります。 スコア条件等はないので、間違って登録してもエラーにはなりません。 使用言語等の詳細は、web シラバスを確認してください。
Ⅲ	専門英語講読A	専門英語講読Aは同じ科目を重複して履修することができます。 （前年度に「専門英語講読A」の単位を修得していた場合も、再度「専門英語講読A」を履修することができます） ただし、担当教員が同じクラスを重複して履修することはできません。
	専門英語講読B	専門英語講読Bは同じ科目を重複して履修することができます。 （前年度に「専門英語講読B」の単位を修得していた場合も、再度「専門英語講読B」を履修することができます） ただし、担当教員が同じクラスを重複して履修することはできません。
—	General Tutorial English α・β （General Tutorial English Beginners 含む）	科目登録時に、科目区分「外国語」を選択した場合、英語Ⅰの単位として算入することができます。 ※再履修者専用科目「英語Ⅰビジネス英会話」を含めて、合計2単位まで英語Ⅰの単位に算入することができます。上限を超えた単位は「共通選択科目」として認定されます。 ※英語選択者以外は、「外国語」として算入することはできません。 ※科目系列を「他箇所」または「自由科目（他箇所・他機関）」を選択した場合は、英語Ⅰの単位には算入されませんので、申請時には科目区分を確認してください。
—	朝鮮語科目（全学オープン科目）	全学オープン科目履修ガイド P.68「2018年度 朝鮮語 全学オープン科目マップ」に記載されている全学オープン科目（GEC 設置科目のみ）については、科目登録時に、科目区分「外国語」を選択した場合、朝鮮語Ⅱ選択の単位として算入することができます。 ※朝鮮語選択者以外は、「外国語」として算入することはできません。 ※科目系列を「他箇所」または「自由科目（他箇所・他機関）」を選択した場合は、朝鮮語Ⅱ選択の単位には算入されませんので、申請時には科目区分を確認してください。
—	日本語科目（日本語センター設置科目）	科目登録時に、科目区分「外国語」を選択した場合、外国語の単位として算入することができます。 ※日本語選択者以外は、「外国語」として算入することはできません。 ※科目系列を「他箇所」または「自由科目（他箇所・他機関）」を選択した場合は、外国語の単位には算入されませんので、申請時には科目区分を確認してください。

以上